【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】特開2008-174124(P2008-174124A)
【公開日】平成20年7月31日(2008.7.31)
【年通号数】公開・登録公報2008-030
【出願番号】特願2007-10166(P2007-10166)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　16/02　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　11/02　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　 7/14　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　 7/20　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　33/14　(2006.01)
Ｇ１１Ｂ　33/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　16/02　６１０Ｄ
Ｂ６０Ｒ　11/02　Ｂ
Ｈ０５Ｋ　 7/14　Ｂ
Ｈ０５Ｋ　 7/20　Ｂ
Ｇ１１Ｂ　33/14　Ｋ
Ｇ１１Ｂ　33/12　５０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年4月15日(2011.4.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
機械構造を有するデバイスと；
前記デバイスを制御するための回路部品がプリント配線板上に配設されたプリント回路アセンブリと；
前記デバイスに接続されるとともに、移動体に用意された金属製の固定用部材に接続され、前記プリント配線板に形成された接地パターンと電気的に導通する金属製のブラケット部材と；
前記デバイス及び前記プリント回路アセンブリを収納する樹脂製の筐体部材と；
を備えることを特徴とする移動体搭載装置。
【請求項２】
前記接地パターンが、前記ブラケット部材に直接的に接続される、ことを特徴とする請求項１に記載の移動体搭載装置。
【請求項３】
前記接地パターンと、前記ブラケット部材とを接続する金属製の接地部材を更に備える、ことを特徴とする請求項１に記載の移動体搭載装置。
【請求項４】
前記筐体部材内に収納され、発熱量が大きな高発熱部品を更に備え、
前記ブラケット部材は、前記高発熱部品が発生した熱を放熱する、
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか一項に記載の移動体搭載装置。

【請求項５】
前記高発熱部品の放熱用固定部分が、前記ブラケット部材に直接的に接続される、ことを特徴とする請求項４に記載の移動体搭載装置。
【請求項６】
前記高発熱部品の放熱用固定部分と、前記ブラケット部材とを接続する金属製の放熱部材を更に備える、ことを特徴とする請求項４に記載の移動体搭載装置。
【請求項７】
前記高発熱部品は、前記回路部品の内の少なくとも１つである、ことを特徴とする請求項４～６のいずれか一項に記載の移動体搭載装置。
【請求項８】
前記デバイスは、記録媒体を回転駆動する回転駆動機構を含む記憶媒体ドライブデバイスである、ことを特徴とする請求項１～７のいずれか一項に記載の移動体搭載装置。
【請求項９】
前記筐体部材は、前記ブラケット部材に固定される、ことを特徴とする請求項１～８のいずれか一項に記載の移動体搭載装置。
【請求項１０】
前記ブラケット部材は鋼板製である、ことを特徴とする請求項１～９のいずれか一項に記載の移動体搭載装置。